



初任科第 92 期 風の時代

静岡県消防学校 初任科だより vol. 1

～消防人としての第一歩～

令和3年4月6日（火）、静岡県消防学校初任科第92期120名が入校しました。新型コロナウイルス感染症の終わりが見えない中で教育が始まったため、初任科学生120名が一丸となり、体調管理や感染対策を徹底して行っています。

初めは消防学校の生活に馴染めず、時間に追われる毎日でした。しかし、入校して1か月が経過した今では少しずつ時間管理や迅速行動を意識して動けるようになりました。

また、4月29日（木）には、学生による選挙を経て第92期の総代と各クラスの副総代が決定しました。この4名が代表となりますが、その他の学生も人任せにせず全員が協力し合って、総代や副総代を筆頭に集団として意識を高めて成長できるよう精進していきます。

この消防学校は長い消防人生の通過点であり、消防人としての第一歩でもあります。初心を忘れずこの消防学校で学べることを全て吸収し、立派な消防士になれるよう、一歩ずつ歩んでいきます。

～非常呼集～

4月19日（月）に初めての非常呼集がありました。非常呼集とは、消防士として、いかなる時でも出動できるような心構えを養う訓練で、今回の非常呼集の目的は、大規模災害における初動態勢及び防災意識の確認でした。7日分の非常食、飲料水21リットル、ラジオ及び懐中電灯が指示された携行品でしたが、半分以上の学生の携行品等に不備があり、私たちの現時点での危機管理不足を実感しました。

仲間の信頼や、市民の皆様の信頼を得るためには何が必要か。もう一度自分たちの根本的な意識を見直した上で、それぞれが消防士としての自覚と求められている責務を理解し、市民の皆様の信頼を得ることができる消防士になるために日々の訓練に励みます。



入校生代表宣誓



非常呼集における携行品の点検

発行日：令和3年5月21日 発行元：静岡県消防学校
制作：静岡県消防学校初任科第92期文化委員
静岡消防 田中 富士消防 市川 志太消防 増井